



北見東ロータリークラブ

2025-26年度
RI会長
メッセージ

「UNITE FOR GOOD」
2025-26年度 国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ氏

2025-26年度
RI第2500地区
活動方針

「Rotary の こと を 熱 く 語 ろ う !」
～ Rotarian Benefits を 紡 ぎ、そ し て 育 む た め に ～
2025-26年度 RI第2500地区ガバナー 佐渡正幸

2025-26年度
北見東ロータリークラブ
活動方針

「地域社会への貢献や友情、奉仕の精神で～あふれる喜びを～」
2025-26年度 北見東ロータリークラブ会長 近藤 裕



<<< 本日の例会 第3040回 >>>

2026年4月3日(金) ホテル黒部 12:30～

- ◇点鐘(開会)
- ◇ロータリーソング：第1週 国歌・四つのテスト
- ◇会長挨拶：近藤会長
- ◇その他：
- ◇会長報告：近藤 会長
- ◇幹事報告：高橋 幹事
- ◇委員会報告：各委員会より
- ◇ニコニコBOX：親睦活動委員会
 - ◇祝誕生日(4/3～4/9)
山口会員、井上会員、平澤会員夫人
 - ◇祝結婚記念日(4/3～4/9)
堀江会員
 - ◇本日のニコニコ
- ◇本日のプログラム
 - ◇担当：プログラム委員会
- ◇点鐘(閉会) 近藤会長

前回(03/13)
第3038回
第2週報



前々回(03/06)
第3037回
第1週報



<< 今後の例会予定 >>

◀ 4月例会等予定 ▶

- 4月3日(金) プログラム委員会
- 4月10日(金) 会員研修・増強委員会
- 4月11日(土)・12日(日) CLLS 旭川市
- 4月17日(金) 特別休会
- 4月22日(水) 理事会(18時～)
- 4月24日(金) 担当：社会・職業奉仕委員会
職場移動例会(12時半 北見地区消防組合消防署)
- 4月25日(土) 第5分区 IM 網走(ホーク文化センター、網走セントラルホテル)

◀ 他RC例会等の予定 ▶

- 4月23日(木) 北見西RC 創立記念夜間例会(18時～黒部)
- 4月30日(木) 北見西RC 法定休会
- 4月29日(水) 北見RC 特別休会

◀ 5月例会等予定 ▶

- 5月1日(金) 法定休会
- 5月8日(金) 法定休会
- 5月15日(金) 夜間花見例会(18時～場所未定)
- 5月16～17日 RYLAセミナー in 釧路
- 5月22日(金) 通常例会
- 5月29日(金) 担当：青少年奉仕委員会

2025-26
週報一覧



■会長挨拶：近藤 裕 会長 *****

今日は4月一般の方々には新年度です。ロータリーは7月ですが「ロータリークラブの必要性」について、短くお話ししたいと思います。ロータリーを一言で表すなら、“社会と自分を同時に豊かにする場所”だと感じています。まず、社会にとっての必要性です。ロータリーは、行政だけでは届かないところを支える民間の力です。災害支援、奨学金、国際医療支援など、政治や宗教に偏らず、継続して地域と世界を支えてきました。これはロータリーだからこそできる役割です。

次に、個人にとっての必要性です。例会は「今日、用がある」「今日、行くところがある」という、生きがいにつながります。また、スピーチ力やリーダーシップ、倫理観など、人としての力を磨く場でもあります。ビジネス目的ではありませんが、結果として“信頼できる仲間”が増えていく。これは人生の財産です。そして今の時代、人と人のつながりが薄れつつあります。そんな中で、ロータリーはリアルなつながりを守り続ける貴重なコミュニティです。多様性を受け入れ、時代に合わせて進化している点も、ロータリーの強みだと思います。

まとめると、ロータリーの必要性とは、奉仕を通じて社会を良くし、仲間との学びを通じて自分も成長できること。その両方を実現できる“公共善のコミュニティ”であるということです。

■その他

◇ビジター紹介：北見西ロータリーより7名

米川博之会員、伊澤弥子会員、中本行洋会員、斉藤伸一郎会員、村田貢範会員、吉澤秀司会員、黒部一哉会員

◇神戸会員お礼

この度は父の葬儀に際し、心温かいお心遣いありがとうございました。皆様のおかげで無事に送り出すことができました。本当にありがとうございました。

■会長報告：近藤 裕 会長 *****

◇米山奨学生について

オドゴンバイアルジンジーバナマ（愛称：ジンジ）さんを簡単にご紹介します。北見工業大学の博士前期課程、2年生で大学院の工学科研究科に在籍をされています。来年の9月に卒業予定です。カウンセラーは安部会員にお願いしております。安部会員よろしくお願いたします。

◇米山奨学生自己紹介

本日は奨学金をいただき誠にありがとうございます。米山奨学生のオドゴンバイアルジンジーバナマと申します。現在、北見工業大学でバイオ食品栄養科学研究室に所属しております。皆様のご支援のおかげで安心して学業に専念することができております。これから例会に参加できることをとても楽しみにしております。今後も勉学に一生懸命取り組み、成長していきたいと考えております。本日は誠にありがとうございました。

■幹事報告：高橋 一徳 幹事 *****

・4月のロータリーレートは、\$1=160円です。

■委員会報告 *****

◇北見東ロータリークラブ創立65周年実行委員会：小柳会員

お手元に2枚の用紙が入っているかと思いますが、まず一つ目、記念事業に関するアンケートというのをお配りしております。こちらですね、次年度の堀江エレクトの思いを寄せまして、周年事業を考えております。テーマとしては、北見の将来を担う子どもたちに何かしてあげたい、その中でも特に児童館を利用するような、そういう境遇の子どもたちに何かしてあげられないかということで、記念事業委員会の中でも揉んでますけども、ぜひ皆さんの方からも意見をいただきたいということで、今回アンケートを取らせていただいております。残念ながら来週の8日17時締め切りとなっておりますので、これタイトになってますのは地区の補助金の申請を予定しておりますので、そ

の関係上タイトにスケジュールがなってますが、ぜひ皆様ご協力、いろんなアイデア、こんなやったらいいんじゃないかというアイデアを募集しておりますので、よろしくお祈りします。提出方法は3つ。今日の例会終了後までに事務局の方に提出していただくか、2つ目がLINEのオープンチャットの方に投稿いただく、もしくは今回 渡辺実行委員長のところの小柳仏壇店さん宛てにファックスをお送りいただくということで、ご協力よろしくお祈りします。2つ目ですが、そちらを受けまして、第1回の創立65周年実行委員会を開催させていただきます。こちらが4月17日金曜日、例会のない日ですけれども、これが午前3時15時から場所が北見神社様、2回お借りしまして開催することになっております。ちょっとイレギュラーかつタイトなスケジュールになっておりますが、皆様のご協力をどうぞよろしくお祈りします。以上です。

◇親睦活動委員会

◆祝誕生日(4/3~4/9)

山口会員、井上会員、平澤会員夫人

◆祝結婚記念日(4/3~4/9)

堀江会員

*****<ニコニコBOX(例会4/3)>*****

ニコニコ担当:千葉会員

本日もたくさんのニコニコありがとうございました。

- 木村会員・妻の誕生日祝、誠にありがとうございました。
- 京塚会員・大変良いことがありました。ありがとうございました。
- 平澤会員・妻の誕生日祝、ありがとうございました。
- 井上会員・誕生日のお祝いありがとうございました。
- 山口会員・誕生日祝いありがとうございました。

本日ニコニコ金額 5件 19,000円

ニコニコ累計金額合計 91件 319,000円

■本日のプログラム:プログラム委員会 谷 会員 *****

◇新入会員卓話

○林 朋之 会員

皆様、こんにちは。入会から約一年、本日は新入会員卓話の機会をいただき、誠にありがとうございます。本来は二時間ほどお話ししたいところですが(笑)、本日は当社の歩みと、亡き父の思い出を交えてお話しさせていただきます。

現在、私は「北日本興商」の立場でおりますが、実質的な生業は「北日本サッシ」の仕事にあります。「サッシ」と名は付きますが、実はもうサッシは作っておりません。現在の主力製品は、玉ねぎや野菜を入れる「スチールコンテナ」です。昭和41年の創業以来、今年で60年。北見の秋の風物詩とも言える、あの畑に並ぶ「鉄の箱」を作り続けてまいりました。

この60年の歴史には、三度の大きな危機がありました。一度目は創業間もない頃です。共同開発したコンテナを札幌の農協へ納品した際、積み重ねに耐えきれず底が潰れるという大事故が起きました。倒産の危機を救ったのは、父が通っていたスナックのチーママでした。彼女が店にいた北連の会長に直談判し、会長の一言で代金が支払われたのです。この「縁」がなければ、今の会社はありません。

二度目は昭和59年。負債総額32億円という、当時の道内最大級の不渡りを出しました。私は大学のゼミで自社の倒産を知るといふ衝撃的な経験をしましたが、この時、丸紅という大企業が材料供給を継続してくれたことで、奇跡的に再起を果たすことができました。

そして三度目は平成22年。鋼材価格の高騰により再び廃業の瀬戸際に立たされましたが、この時も丸紅の導きで現在の親会社である「富安」と出会い、事業を継承すること

ができました。現在は丸紅のひ孫会社として、非常に厳しいコンプライアンスの中で「窮屈ながらも（笑）」健全な経営を続けております。

現在、このコンテナを国内で製造しているのは当社一社のみです。安価な中国製コピー品との戦いは続いています。品質と利便性を武器に、北見から全国の産地へと販路を広げています。

最後になりますが、私が今こうして皆様の前でお話しできているのは、メーカーとしての誇りを守り抜いた父と、それを支えてくださった多くの皆様のおかげです。まさに「お父さん、ありがとう」という感謝の一言に尽きます。続きは十年後の「年男」の際にお話しできるよう、これからも精進してまいります。ご清聴、誠にありがとうございました。